

とす。思ふて此に至れば、豈に寒心せざるべけんや。

又新疆住民の大部分を占むる回々教徒は、之を喇嘛教徒に比すれば、弊害少なきは前述の如し。其他何れの點より觀察するも、回教徒は喇嘛教徒に優ること萬々なり。同じく遊牧民たる哈薩克は、蒙古族よりは義に富み、禮を知り、潔癖あり、團結心あり、騎乘に巧みなり。殊に纏頭回、漢回に至ては、智識の程度迥に優秀にして、農牧商工の何れをも解し、勤勉有爲の民族たり。之を誘導啓發するに其道を得ば、將來有望の人民たるを得べき見込あり。

殊に彼等の團結心の鞏固なるは、教祖以來の歴史に徴して明かなり。唯、彼等が今日に於て、土耳其帝を護法の帝王と仰ぎ居る一事は、聊か注意を拂ふべきものに非ざる無きや。

予は旅行中、屢々次の如き言を耳にしたり。彼等曰く、

我々の帝王と仰げる土耳其帝は、大日本皇帝陛下と極めて親善なることを聞き、衷心實に欣喜に堪えず。嘗て我同胞たる土耳其人の日本に漂流せし際(同國)軍艦(金剛)に難破せしを云ふ(紀)日本人は之を救助して、慰撫至らざる無く、遂に軍艦(剛)